

今、目覚めのとき、目覚めのときです。ともに心を見ていくことが喜びです。いっしょに神に帰りましょう。あなたも私もみんないっしょ。肉は個々にあります。でも思いは通じ合っているのです。苦しい心、汚い心、神より大きくずれた心を使い続けてきたのです。

私はお父さんの肉体を通して学ばせていただきます。私の中にある闇の思いをしっかりと見つめていきます。お父さん、どうぞ私とともに学んでいってください。私たちは喜びの存在であることを忘れてしまいました。肉の思いの中で、いつも恐怖と孤独、寂しさの中でこの肉体を終えていったのでした。でも私は、自分の中のタイケトメキチ、お母さんの温もりをこの心で信じて、そして私は寂しい存在でも恐怖の存在でもなかったということはこの心で明かしていきます。いっしょに歩いていってください。

肉体細胞にありがとう。ここまでこの愚かな肉を支えてともに生きてくれました。あなたがいたからこそ私は学ばせていただけるのです。肉は愚かです。あなたを酷使し続けてきました。もう少し、もう少し私に時間をください。私はなぜこの肉体をもらい、そして自分の人生がどういう意味を持っていたのかということ、そしてこれまでの私の数々の過ちをもう少し見続けていきたいのです。肉は今の私にとって大切です。ほんの少しほんの少しでも真実の自分に触れて私は今世を終えていきたいのです。たくさんのおちを繰り返してきた私の心の中にようやくほんの少しの明るさを見出せるような気がします。それまでどうぞ私に時間をください。